

# コロナ、物価、公共施設問題

一般質問

いつでも、だれでも検査を

県が行っていた感染の不安がある人が薬局で受けられるコロナ対応の無料検査は、7月25日より再開になりました。メールで返信が基本なので、改善が必要です。

「だれでも、感染の不安を感じたら気軽に検査が受けられる体制を市として取るべき」と、提案しました。

## 物価高騰に対策幅広く

住民税非課税世帯には、市が国の臨時特別給付金の申請書を送りました。対象ははずなのに申請書が見当たらない場合は、市に相談してください。

今年に入り急に収入が減った世帯も、9月末まで申請できます。

問い合わせは、ともに市社会福祉課（27・2749）まで。

プレミアム付商品券は好評です。

しかし、ゆとりがないと券を買うこともできないし、使えるのは登録業者だけです。「対象外になる事業者に対して、市独自の支援策を」と求めました。

また、国はコロナ対応地方創生臨時交付金について、電気代や燃料費

高騰などに対応する補助金に使っても良いと言っています。

市が、市民・事業者・農業者などへの幅広い支援策を具体化するよう提案しました。

## 施設廃止が

### 地域壊しに繋がる恐れ

市は、「人口減、財政難だから公共施設を統廃合しなければならぬ」といって、4つある保健センターを1つに、5つある高齢者入浴施設を2つになど、大胆な公共施設の統廃合計画を打ち出し、少しずつ実施しようとしています。

しかし、伊勢崎市の人口減少幅は県内でも小さく、財政も健全で基金を大幅に積み増しています。旧町村住民が大切にしてきた施設を乱暴に無くそうという今回の統廃合計画により、「合併しなければ良かった」という憤りの声が市民の間に広がっています。

市長自身が「地域間の共生」を口にしながらか、それに反する「地域こわし」につながりかねない統廃合計画を進めるのは矛盾です。強く見直しを求めました。

## 第3子以降無料化の状況

学校給食費の第3子以降助成は予算と実績がかけ離れていて、周知不足の問題にしてきました。これを受け、昨年度は対象と思われる世帯に通知を出し申請を呼び掛けたところ、2020年度の215件から288件に適用が3割以上増えました。申請を待っているのと、積極的に利用してもらおうと取り組むのでは、こんなに違いがあります。

本年度は対象を高校生も含めた3人目以降に広げ、所得制限も撤廃しました。このため、6月13日現在で適用は988件、昨年比3.4倍に増えました。

県内35市町村中14市町村が、既に完全無料化しています。太田市も10月から中学生、来年度から小学生を完全無料化します。「改善から完全無料化に」と求めています。

# 給食食材費高騰一市の助成実現

## 1食13円の補填実現

小麦や食用油・大豆など食料品が急騰しています。地域の新日本婦人の会が5月30日、教育長に学校給食費への物価高騰による公費補助などを求めて、要請を行いました。

紹介議員として北島・長谷田両市議が同席し、一般質問でも長谷田市議が実施を要望しました。

議会最終日に補正予算が追加提案され、今年度の食材の値上りを9%と見込み、一食13円の補助を行うことが決まり、要望が実現しました。



新日本婦人の会が  
教育長に要望書提出

## 第2回青年学生食糧支援

コロナの影響でアルバイトや仕送りが減り食費にこと欠き、その上食料品の高騰で大変な青年学生を支援する「まんぷくプロジェクト@いせさき」。第2回目の取り組みが、5月29日JA南支店の駐車場を借りて実施されました。

大勢の皆さんから物資や募金の提供を受け、並べられた食料品や日用品を袋に詰め、皆さん嬉しそうに持ち帰りました。共産党市議団も、物資の搬入やなんでも相談のスタッフとして協力しました。



物資の搬入などを手伝う党市議団

## 市は入浴施設がキライ?!



休止中のひまわりセンター

赤堀地区の老人いこいの家は今年度で廃止し、お風呂のない交流施設として赤堀保健センターの研修室へ移転させる計画の説明会が、7月7日行われました。

「お風呂に入るのが楽しみで来る人が多い、代わりの施設にどう通ったら

いいのか」「五十嵐市長がはつきり5年間は存続させるといった、約束は守ってください」など次々と厳しい批判の声が出ました。

これに対して市側はいつになるのかわからない「デマンドバスの検討をしている」とか、「選挙の審判を受けて当選したのだから約束を守らなくてもいい」と結論を押し付ける筋の通らない説明に終始しました。

県内5市の高齢者入浴施設の設置状況は、前橋6、高崎12、桐生7、太田6施設。5ヶ所の伊勢崎市は一番少なく、削減を検討している自治体は他にはないということです。

存続させるというあずま地区にあるみやまセンターのお風呂も、壊れて利用できません。修理代を昨年度の補正予算で計上せず今年度以後回したため、8月までお風呂の利用は休止です。175万円の修理代を後回しにして何ヶ月も利用できないなんて、いったい伊勢崎はどうなっているのでしょうか？